

### 1. 基本情報 (令和5年3月31日現在)

人口	69,201人	保護率	1.6%
----	---------	-----	------

### 2. 支援状況 (令和3年度)

新規相談受付件数	100名	8.3/月			
プラン作成件数	17名	1.4/月			
就労支援対象者数	2名	0.16/月			
任意事業等の実施状況 (令和5年度(予定))					
支援会議	就労準備	家計改善	シェルター	地域居住	子ども
×	○	○	○	×	○

### 3. 会議の概要等 (令和4年度)

構成員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自立相談支援機関</li> <li>・ 社会福祉協議会</li> <li>・ 行政(振興局・町福祉担当部署・福祉事務所)</li> </ul>
会議の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係者間で情報共有し、適切な支援につなげることを目的として開催。</li> <li>・ 講義：諦めない支援～官民連携による社会資源の開拓・充実</li> <li>・ 講義：ひきこもり支援について(実践報告例紹介)</li> <li>・ 演習：グループワーク(課題共有)</li> </ul>
開催方法等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年1回程度、午後4時間程度、中標津町総合福祉センター</li> </ul>

### 4. 会議設置までのプロセス

設置前

事業実施は北海道で、対象4町は自立相談を実施していない。管内4町はそれぞれは人口も少なく、社会資源に乏しい地域が殆どであるため、管内で関係機関同士が自治体の枠を超えて連携を深め、必要な社会資源を開拓していく必要があると考えているものの、どのように取り組んでいけばよいかを関係者で検討をしたかった。

自立相談支援機関との打ち合わせ(5月実施)  
【5ヶ月前】

- ★自治体向けコンサルティング事業公募
  - ・ 管内状況(課題)について情報共有実施
  - ・ 課題として、人口が少なく、社会資源に乏しい現状。
  - ・ 関係機関、自治体間の連携を深め、必要な社会資源の開拓の為の取り組みについて助言を得ることとする。

設置に向けて

コンサルティング事業1回目(8月実施)  
【3ヶ月前】

- ★関係者に参加してもらい、講師から先進地の取り組みの報告をいただき、関係者で共通の認識を図る。(就労支援、定着支援、居住確保支援の実際、引きこもり支援)
- ★コンサル講師と管内自治体視察。広域の移動、点在しているなど課題を再確認。また、各自治体での実践を知る機会がないことを確認。
- ・ 第2回コンサル(社会資源開発の勉強会)に向け打ち合わせ。

支援会議の枠組み活用しプラットフォーム会議を開催  
【2ヶ月前】

- ★1回目のコンサル事業を経て下記2点を目的に調整会議を開催することで整理
- ①関係機関同士で必要な情報交換等を行うとともに支援体制を検討する場の設置が重要
- ②資源開発のため、プラットフォームの役割を支援会議に位置付ける

会議開催

- ★実績～開催実績：1回(令和4年度)
- ★効果
  - ・ 管内の市町や関係機関の連携体制を強化ができた。
  - ・ 参加者同士で課題を共有し、適切な支援について考えることができた。
  - ・ 近隣自治体の取り組み等を知り支援のヒントにすることができた。
  - ・ プラットホーム事業を活用して民間団体を応援できる素地ができた。